写真で見る　廿日市市　文化財

広島県指定重要文化財

極楽寺　1,2,3,10
廿日市市原2180

No 1

極楽寺本堂
ごくらくじほんどう

2006/11/3　撮影

極楽寺山(標高693m)の山頂にある極楽寺の開基は
天平九年(七三七)という。
本堂は永禄五年(1562)・・・1555の厳島合戦後の7年のちに
元就により再興された。
厳島社藤原神主家・毛利氏の厚い信仰を集めた。

2　木造十一面千手観音坐像
もくぞうじゅういちめんせんじゅかんのうざぞう

図説　廿日市の歴史より

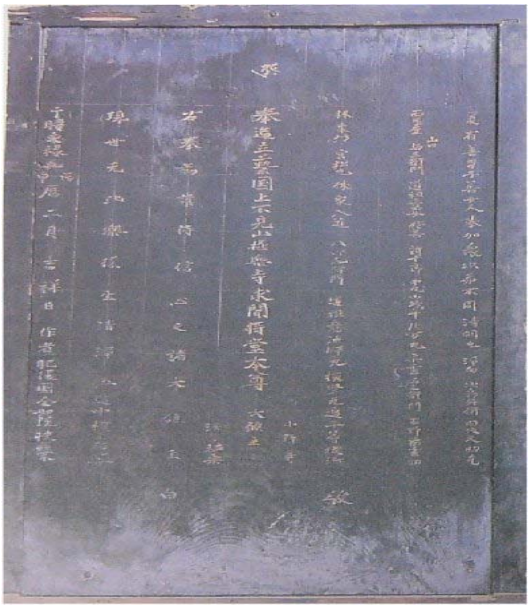
極楽寺の御本尊

両目からあごにかけて見える線が涙にみえることから
「涙流しの観音」といわれている。
平安中期の作

3　　木造板　半肉彫虚空蔵菩薩像
もくばんはんにくぼりこくぞうぼさつぞう

極楽寺境内にあった救聞持堂の御本尊とされる。

木造板　半肉彫虚空蔵菩薩像　裏面



右の面裏面には文禄五年(1596)の銘がある。

図説　廿日市の歴史より

10　　銅製　鰐口
どうせいわにぐち

刻銘
「奉施入鰐口芸州佐西郡極楽寺常持」
「明応二年(1493)癸丑五月朔日本願明賢大工久信　敬白」

直径45cm

図説　廿日市の歴史より